

陽光

地域の皆様の支えを温かな日差しと感謝しつつ……

千歳市北陽3丁目9番1号

TEL 42-3441

前期後半がスタートしました

校長 野尻一裕

例年より短い10日間の夏休みが終わり、子どもたちが元気に登校してきました。「〇〇に出かけたよ」、「家族で〇〇をして楽しかったよ」、「〇〇がおいしかったよ」と充実した夏休みであったようです。

さて、夏季休業中に、本校教職員でこれまでの教育活動について振り返る中間評価を行いました。感染症対策のために、様々な教育活動が制限される中、学校行事実施可否についての検討、学習計画の見直し、混雑緩和のための日課表変更（時差登校）、児童下校後の消毒作業等、職員一丸となって取り組んできました。一方、保護者の皆様への連絡内容に誤りがあったり、十分な連携が取れなかったりと反省点がありましたので、今後、修正し、より充実した教育活動を推進してまいります。

また、子どもたちの実態を踏まえ、今年度の重点目標の文言を次のように一部修正することになりました。

『自己有用感の向上』 進んで学び、自他のよさを認めなかよく活動できる子どもの育成
～支持的風土の学級づくりと授業改善を通して～

本校は平成26年度以降、「自己有用感の向上」を重点目標としており、職員室でもよく耳にする言葉です。自己有用感とは、「自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということをも自分自身で認識すること」であり、自己有用感とは社会性の基礎・自立への基盤となります。つまり、子どもたちに自信を持たせ、次の学習や活動、友達や集団との関わりへの意欲になる等、生涯にわたって主体的に行動する力となっていくものと考えています。支持的風土の学級づくりと授業改善（主体的・対話的で深い学び）を通して実現を図ります。

そして、子どもたち自身にも重点目標を意識してもらいたいと考え、「進んで学び、自他のよさを認めなかよく活動できる子ども」としています。具体的には、次のような子どもたちの姿です。



低学年	○忘れ物をせず、学習用具の準備をする。 ○みんなと力を合わせて生活する。
中学年	○学習の準備をしっかりと進んで学習する。 ○友達の立場や気持ちを考えて行動する。
高学年	○学習の仕方がわかり計画的に学習する。 ○友達のよさを見つけ、思いやりをもって行動する。



家庭、地域の皆様にも今年度の重点目標について知っていただき、同じ考えのもとで子どもたちに接していただくことで、成果を確実なものできると思います。どうぞよろしくお願いいたします。